



HIGA NEWS

2021年5月 第57号

編集・発行 一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA)



会員の撮った1枚

しおまち商店街にある旅籠Yubune



しまなみ海道の真ん中、瀬戸田

食堂、ゲストルーム、観光案内所、ラウンジスペースを備えた和風複合施設「SOIL SETODA (ソイル瀬戸田)」が4月に
いくちじま

生口島の瀬戸田港そばに開業しました。食堂では地元産の食材を使った料理が出され、観光案内所では地元の人たちと交流できるサイクリングツアー、レモン収穫体験、海釣りツアーなどが情報提供されており、瀬戸内の魅力が満喫できそうです。

瀬戸田港から、しおまち商店街を通り耕三寺に行ってきました。

続きは5ページをご覧ください。

HIGA通訳案内研修（観光庁登録研修機関研修）

HIGA事務局

2018年1月の通訳案内士法の改正に伴い、全国通訳案内士には旅程管理の実務や災害時の対応等、実務において求められる知識についての通訳案内研修（法定研修）を、2020年度から5年ごとに受講することが義務づけられました。本研修の登録研修機関であるHIGAは、コロナ禍という状況を鑑み、初回の研修を昨年12月5日、オンラインで実施しました。午前中の「法定研修」は108名が受講し、全国通訳案内士には修了試験が課されました。また午後は、通訳案内士が自主的に研鑽を積むべき内容を扱う「自主研修」を行い、古谷章子会長による「広島を世界に発信する」と題した講演及びHIGA所属の多言語の全国通訳案内士が経験に基づいた異文化紹介を行い、大学生を含む103名が受講しました。

今年度もオンラインで実施する予定ですが、詳細は8月中旬にHP上で公表いたします。

多くの皆様のお申込みをお待ちしております。

(HIGA通訳案内研修：<https://www.j-higa.net/seminar/>)

会員対象オンライン研修①

「長崎バーチャルツアー」 多彩な歴史・文化を学ぶ

英語会員 阿部 優美

昨年11月22日に行われた研修旅行グループ主催の長崎バーチャルツアーは、ガイドの視点で長崎について教えていただける絶好の機会。空気の澄んだ秋晴れの中、念願の長崎へ研修旅行・・・と思ってオンライン研修に臨みました。100人近い参加者を前に、会員の方々による講義は、豊富な知識を背景に、深堀エピソード、的確なアドバイス、トリビア的クイズなどが満載の、期待以上の学びの場となりました。

特に10人の重要人物から歴史の流れを紐解いていく説明は興味深かったです。日本初キリシタンの大村純忠から隠れキリシタンの苦難を経て、戦後の永井隆博士、ヨハネ・パウロ二世教皇、フランシスコ教皇と根底にキリスト教と深く関わりながら独特の歴史を持つ土地柄となりました。そして鎖国時も唯一海外に開けた出島でオランダ人から最新技術の情報を得たり、地理的条件で中国の文化を取り入れたり、他県にない文化、風習を育ててきた土壌がよくわかりました。中でも中国文化は色濃く根付いています。建造物では眼鏡橋、興福寺（日本初の唐寺）等、お祭りではペロン選手権、長崎くんち等。精霊流しの動画をみせていただいて、あまりに雄壮、喧噪なお祭りではびっくり。灯ろう流しの静かなイメージと同じだと誤解していたのです。しっぽく料理、ちゃんぽ

んなど食文化も中国やオランダの影響を色濃く受けています。

そして、初めて巡る長崎平和公園。願いのゾーン（海外モニュメント）、祈りのゾーン（爆心地）、学びのゾーン（資料館・祈念館）と分かれています。爆心地には原子爆弾落下中心地碑があり、その横には、浦上天主堂遺壁が置かれています。19世紀終わりに30年もかけて建造された浦上天主堂は東洋一の壮大さを持つ頑丈な建物でしたが、爆心地に近くひとたまりもありませんでした。1959年に再建された天主堂の側には焼けただけの聖人像や鐘がそのまま残されていて被害の凄まじさを感じさせます。

近年クルーズ船が多く寄港し、沢山の外国人観光客が訪れています。長崎に魅せられることは十分理解できました。だからこそガイドとして長崎を案内するには、生半可な知識ではなく奥深い歴史を踏まえて語る必要があることを痛感しました。

長崎の独特な雰囲気味わい、今日の研修を振り返るためにも、是非足を運んでみたくまりました。そして、「尾曲がり猫」率79%という衝撃的な情報もあるので、曲がりしっぽの猫も確認しなくてはと思います。



広島平和記念公園対岸
元安橋たもとのオープンカフェ

Caffè Ponte
カフェ・ポンテ

【住所】広島市中区大手町1丁目9-21
【予約専用電話】082-247-7471
年中無休

大正十四年創業

 **宮島 藤い屋** 

〒739-0588 広島県廿日市市宮島町 1129
TEL 0829-44-2221 FAX 0829-44-2022
オンラインショップ <http://www.fujiya.co.jp>

会員対象オンライン研修②

「広島」の産業」研修を受けて

英語会員 伊東 正子

昨年12月20日、広島の主な産業の中から日本酒、自動車会社のマツダ、針、熊野筆を選び、ツアーで役立つ内容、話題となるような研修をと、マニュアルグループが開催してくれました。

日本酒については、製造過程の説明のあと、今では世界的にも有名になり東京 銀座にも店舗がある「だっさい 瀬祭」のことや酒を説明する際に使える英単語が紹介されたのはよかったですと思います。マツダに関しては、その歴史を改めて振り返ることができたほか、ますます重要になってくる環境問題をふまえて、脱ガソリン車への取り組みもおこなわれていることがわかりました。

古くからの産品である針や筆についても、これまでの歴史を辿ったあとで現在の状況についての説明がありました。スマホなどの電子基板の検査に針が使われていること、特にスマホの

半分は広島の針で検査されていることに驚きましたし、歯の補修用にセラミックの粉を塗るときなど医療用に使われる筆があることを初めて知りました。

合間には夏野菜の花の映像と解説がありました。これらの植物の「実」は日頃食べられているものですが、「花」は自分で育てている人や畑を通りかかったときにしか見られないので、興味深く拝見しました。野菜たちも花に焦点をあててもらって喜んでいることでしょう。

これらについてひと通りのことは知っていましたが、各発表者のおかげで、再確認をすることができ、より深い知識も得ることができて有益でした。対面での研修の良さ、楽しさがあるのはもちろんですが、コロナ禍ということで今回はオンラインで行われ、私のような遠方に住む者にとっても参加可能となりました。ありがとうございました。

会員対象オンライン研修③

「直島」研修に参加して



英語会員 大川 富美

オンラインの直島研修が2月7日に開催されました。主催した岡山地区メンバーのアイデアあふれる演出で、アートの島・直島の歴史から、とっておきのガイド情報までが詰まった楽しい2時間となりました。

研修開始10分前から、画面では直島を彩る野外アート作品や建築、夜の港の写真が映し出されて、直島に到着した気分。まず、柏原尚子会員が「こうして直島はアートの島に」で島の概要を語ってくれました。アートの島の着想は35年以上前だったとか。地中美術館の誕生は本当に興味深いですね。次に飛松美紀会員と鴨井真由美会員がお二人で、ベネッセハウスミュージアムを作品の写真と共に案内してくれました。直島の地で制作された、窓の4分の1を残して鉛のロールが埋めるヤニス・クネリスの『無題』。「この巻き方ですが、巻き寿司説があるそうですね」「そうなんです、お昼に巻き寿司を食べて翌日に思いついたそうです」と息の合った掛け合いを聞きながら、館内を回ります。

続いて小松原旬代会員がラジオドラマ仕立てで「家プロジェクト一角屋・南寺」を発表。心地よい低音ボイスにアートの世界へ誘われます。古い家を生かした作品はどれも魅力的ですね。南寺の内部はぜひ見てみたいです。家プロジェクトがある本村エリアの3つのお寺についての動画（佐藤佳子会員作成）で前半が終了しま



李禹煥美術館の野外展示「無限門」

した。

後半は、最初に城野由美子会員が、エリアの周り方や観光スポットの注意点、ランチ情報を提供。街角アート動画の後、最後は、尾崎美樹会員が1日サイクリングコースを紹介。海風を受け、赤かぼちゃんなどの写真を見ながら自転車での快走を楽しんでいると、あっという間に終了時刻となりました。

124人が参加した研修は、松本伸一リーダーの「個性の違うメンバーが一つになったアート作品になれば」の言葉通り、完成度の高い素敵な作品で、ますます直島を実際に訪れたい気持ちが強くなりました。

司会の谷川紀子会員ほか、事前準備、受付等メンバー全員の協力で実現したとのこと。岡山地区会員の皆さん、ありがとうございました。

通訳ガイドの準備に役立つおすすめツール

英語会員 佐藤 仁美

世界がパンデミックに見舞われて1年余り。HIGA会員はこの時間を利用してオンライン研修や勉強会に参加したり、現地を歩いたりしながら、次のガイドに向け準備を続けています。そんな時に活躍するツールのいくつかをご紹介します。（VoiceTraはスマホ向けのアプリですが、それ以外はスマホとPCのどちらでも利用できます。）

観光情報サイト「瀬戸内ファイnder」・「岡山観光WEB『おか旅』」

ここ数年、地元ライターやカメラマンの独自取材を看板にした情報サイトが全国に登場しています。近県の情報ならこちらで。地元ならではの視点、旬を先取りした話題、今まで取り上げられなかった情報など、とっておきの記事や写真が満載です。

機械翻訳サービス「DeepL」（無料版あり）



トークを考える時に出くわす「もっと上手い文章にできないかな？」そんな時はディープラーニングの活用で今や

かなりの進化を遂げたウェブ翻訳にも相談を。その一つ「DeepL」は昨年3月に日本語が仲間入りし、現在20を超える言語に対応。とても自然で精度の高い文章を提案してくれると評判です。

DeepL : <https://www.deepl.com/translator>

英語類語辞典「Power Thesaurus」（無料）



作家やジャーナリスト向けに開発されたクラウドソーシング型のシソーラス。とにかくすばやく大量に出てくるのが特徴。さらにじっくりくる表現が見つかります。

PowerThesaurus : <https://www.powerthesaurus.org/>

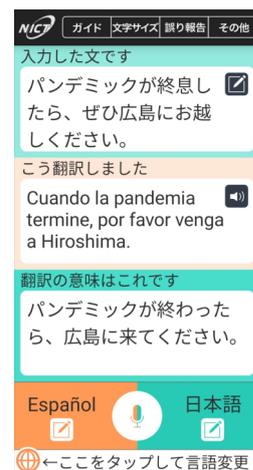
英文添削ツール「Grammarly」（無料版あり）



a? the? 冠詞なし? 英文法のミスを理由とともに指摘し、正しい表現を提示してくれる頼もしいツールです。ライティング力を磨くことができます。

Grammarly : <https://app.grammarly.com/>

音声翻訳アプリ「VoiceTra」（無料）



短めの文章を手早く調べたい時はこちら。音声認識の最新技術を活用し、スマホに話しかけるだけの手軽さで、精度の高い翻訳を音声と一緒に示してくれます。シンプルな操作性と驚きのスピード感は必見。国の研究機関が開発し観光庁も推奨するこのアプリは、スマホ片手に多様な言語スピーカーとコミュニケーションを取ることも可能にしてくれます。31か国語対応。

VoiceTra : <https://voicetra.nict.go.jp/index.html>

オンライン英会話・外国語レッスン（有料。多くが無料お試しレッスンあり）

新しいトーク、お客様にしっかり伝わるかな? 実践が難しいこの時期、画面の向こうの外国人講師に披露してアドバイスと自信をもらうのはいかがでしょうか? お気に入りの講師が自分の言語アドバイザーになってくれます。

他にも使い勝手の良いものが続々登場しています。ぜひご自分のスタイルに合うものを見つけてご活用下さい。

HIGAの活動報告（2020年11月～2021年5月）

- 11月 22日（日）長崎バーチャル研修旅行（オンライン）
- 12月 5日（土）通訳案内研修（法定研修・自主研修）（オンライン）
- 12月 20日（日）「ツアーで役立つ！ 広島産業」（オンライン）
- 2月 7日（日）「直島研修」（オンライン）
- 2月 27日（土）2021年度定時総会・懇親会（オンライン）

株式会社 つばめ交通
〒732-0066 広島市東区牛田本町 4-5-10
配車センター 082-221-1955
<https://www.tsubame.co.jp/>

賛助会員募集中

インバウンド観光の振興に関心をお持ちの団体・個人の皆様 ぜひご入会ください!

(一社) ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA)
TEL 082-243-8346

瀬戸田のレトロと非日常

(表紙からの続き) しおまち商店街を歩いてすぐのところに、黒壁に細長い木製格子の粋な建物の宿泊施設があります。こんなところで何もしない時間を過ごせたらいいだろうな、と思いつつながら、さらに歩いて行くと、そっちにもこっちにも、どこか懐かしい店先に5個100円のレモン、レモンケーキ、レモンジャム、塩レモンなどが売られています。さすがレモン生産日本一の瀬戸田と感心していると郵便ポストもレンタサイクルの自転車もレモン色。テレビに何回も出たという人気のコロケとローストチキンの店もあります。自分の子供時代をふと思い出し、過ぎた昔が無性に懐かしくなりました。



商店街を抜けて「西の日光」と言われる耕三寺に行きました。大阪の実業家金本耕三が慈母への報恩感謝の思いを込めて母の故郷瀬戸田に建立された寺院で「母の寺」とも呼ばれているそうです。日光東照宮の陽明門を模した色鮮やか

商店街を抜けて「西の日光」と言われる耕三寺に行きました。大阪の実業家金本耕三が慈母への報恩感謝の思いを込めて母の故郷瀬戸田に建

英語会員 光成 美恵子

な門をくぐると、平等院鳳凰堂を模した本堂があります。どちらも実物より派手で豪華な印象を受けました。

本堂の裏の遊歩道を上ると、眩しいくらいの真っ白な世界が広がります。こ

みらいしんのおか
は、未来心の丘。広島県出

くえたにいつとう
身の彫刻家杭谷一東による白い大理石の作品が青空に映え、まるでギリシアに来たかのように。丘の天辺からは、丘全体の作品とキラキラ光る瀬戸内海が見渡せます。旅を非日常ととらえるなら、これほどぴったりの場所は、おそらくないでしょう。

商店街ではレトロな雰囲気はひたり、未来心の丘ではリゾート感を味わえる。なんて瀬戸田は楽しいのだろうと思いつつ駐車場にもどつて

こうねしま
いと、生口島と高根島を結ぶレモン色の橋を背景に、レモン色の船が瀬戸田港から出ていきました。



from China 山川異域 風月同天

昨年1月、まだコロナが対岸の火事だった頃、中国湖北省への救援物資のダンボール箱にHSK日本事務局(中国語レベルテスト日本事務局)が「山川異域 風月同天」という漢詩を書いて送ったのをご存知でしょうか?

これは天武天皇の孫、長屋王が詠んだ詩の一節です。元の詩は「山川異域、風月同天、寄諸仏子、共結来縁」。「生まれた国土は違いますが、天空を吹く風や月に国境はありません。この袈裟を、仏教を学ぶ皆様にお贈りします。ともに永遠の縁を結ぼうではありませんか」という意味です。

約1300年前、唐の時代、長屋王がこの漢詩を刺繍した袈裟千枚を鑑真に贈ったと言われていいます。困難な航海により視力を失いながらも6回目の航海で日本に辿り着き、奈良の唐招提寺を建立したあの鑑真です。鑑真はこの漢詩に感動し、日本に渡る決心をしたのです。

1300年の時を経て、この漢詩が、また中国人の心を揺さぶりました。袈裟は救援物資に変わり、段ボールに書かれた漢詩の写真はSNSであつという間に中国全土に拡散。私が日本人というだけで、私のもとにも中国人の友人から次々「日本からの支援とあの漢詩、感動した。ありがとう」と連絡が入りました。中国人も驚くHSK日本事務局

英語会員 瀬戸 美穂

の漢文の素養の高さに恐れ入るとともに教養が持つ底力を痛感しました。

あれから1年数ヶ月。

私の住む江蘇省南京市で

は徹底した入境者管理で新規感染者の発生を抑えています。その対策は中国の中でも特に厳格と言われています。南京に限ったことではありませんが、高速鉄道や飛行機を利用する際、また違う都市へ移動する度、LINEのような通信アプリやPayPayのような支払いアプリに組み込まれている健康証明コード(右の写真)の提示が求められます。今後はワクチン接種の有無も健康コードに追加表示されるのではと噂されています。1日も早いコロナ終息を祈るばかりです。



南京の桜の名所 鷓鴣寺



HIGA文化講演会のご案内

本年度のHIGA文化講演会は、志賀 賢治氏を講師にお招きします。

広島平和記念資料館前館長である志賀氏は、昨年「広島平和記念資料館は問いかける」(岩波新書新赤版1861)を上梓されました。2019年に大規模なリニューアルを行った「記憶の博物館」の軌跡と課題について、志賀氏の貴重なご経験やお考えを直接伺うことができるまたとない機会です。多数のご参加をお待ちしております。

『原爆がもたらしたものの、奪ったもの』

講演者: 志賀 賢治 氏

広島平和記念資料館前館長

広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部客員教授

日時: 2021年9月25日(土) 午後1時半～3時半

場所: JMS アステールプラザ4階大会議室AB (広島市中区加古町4-17)

定員: 50名 (要予約/全席指定)

参加費: 無料

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で対面式の講演を予定しておりますが、状況により定員数の変更またはオンラインでの開催となる可能性があることを予めご了承ください。

お問い合わせ・お申し込み: (一社) ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA) higa@urban.ne.jp



志賀 賢治 氏

【ご協力ありがとうございます】

~ with sincere thanks ~



HIGA賛助会員の皆様 (2021年5月現在 順不同、敬称略)

団体会員: 広島紅葉ライオンズクラブ 広島商工会議所 広島トヨペット (株)
(有) はやし JTB協定旅館ホテル連盟広島支部 つばめ交通 (株)
(株) 藤い屋 (一社) 広島県観光連盟 カフェ・ポンテ 岩惣
広島県民文化センター あいおいニッセイ同和損害保険 (株)

個人会員: 古谷 英明 延本 真栄子 吉中 康磨 嘉屋 基一 藤井 倫子
清水 憲吉 辻 孝和 吉井 敏弘 河野 博行 海生 直人
くらわんか 青野 重信 藤井 芳子 田島 謙治 花やしき

賛助会員としてご協力くださる団体、個人の方を募集しています。ぜひこの機会に入会をご検討くださるようお願いいたします。年会費は一口につき団体会員2万円、個人会員5千円です。団体会員には、HIGAニュースに広告掲載の特典があります。

お申込み、お問合せは当協会事務局 082-243-8346 (月～金 11:00～14:00) まで。

※現在新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応のため、事務局受付時間を短縮しております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本誌へのご感想・ご意見をお寄せください。HIGA事務局へFAX・Eメール: higa@urban.ne.jp どうぞ。

【表紙の写真・文】英語会員 光成 美恵子

【編集後記】「三密」(密閉・密集・密接)という言葉は、新型コロナウイルス感染予防のため避けるべき状況として定着してきた。しかし、本来は仏教、なかでも密教系の宗派で使われる言葉だ。三密の修行とは、身密(しんみつ・身体)、口密(くみつ・言葉)、意密(いみつ・心)を整えて、内なる仏を見つける修行だという。コロナの状況はなかなか好転しないが、一喜一憂せず、自分の行動を律し、人を思いやる言葉を使いたいと思う。(野良猫)

みやじまの宿

岩惣

〒739-0522 広島県廿日市市宮島町もみじ谷
TEL 0829-44-2233 <http://www.iwaso.com/>

使かみの
はやし

おかげさまで七十二周年
宮島で一年中
生かきが食べられます

TEL 0829-44-0335